

町議会とあなたを結ぶ

# 議会だより

# しらおい、176

定例会4・6月会議号

2021年7月31日発行



(白老小学校)



(萩野小学校)



(竹浦小学校)



(虎杖小学校)

(各小学校運動会の様子)



議会だより  
(町ホームページ)



議会フェイスブック

P 3～11 定例会6月会議 9人の議員が一般質問

P 12～14 委員会報告 (産業厚生・広報・病院)

P 15～16 定例会報告／会議予定／編集後記

北海道にある、元気まち



しらおい

# 一般質問 ～令和3年定例会6月会議～

にし だ ゆう こ 議員 ..... 3ページ

①白老港について

まえ だ ひろ ゆき 議員 ..... 4ページ

①白老町行政改革推進計画と公共施設等の最適化について

②しろおい創造空間「蔵」について

ふた また よし のり 議員 ..... 5ページ

①新型コロナウイルス感染防止に向けた町の態勢と対応策について

②芸術文化のまちづくりについて

さ とう ゆう だい 議員 ..... 6ページ

①町の情報発信について

おお ぶち のり お 議員 ..... 7ページ

①町財政について

②役場組織の方向性と職員のあり方について

はせがわ 議員 ..... 8ページ

①長びくコロナ禍による生活困窮者支援の対策について

よし たに かず たか 議員 ..... 9ページ

①中学校運動部の活動状況について

もり てつ や 議員 ..... 10ページ

①環境施策の今後のあり方について

ひろ ち のり あき 議員 ..... 11ページ

①地域の活力を創造する政策について

一般質問…本会議において議員が執行機関に、町の行政全般にわたり質問することです。

①質問時間は**1人45分以内**（町側の答弁の時間を含まない）

②**一問一答方式**を採用（時間内で何度でも再質問可能）

発言は、通告順（質問を提出した順）に行います。



# 問 白老港の総事業費と町からの支出総額は

## 答 事業費790億2千万円 支出は42億5千万円



西田祐子議員

問 白老港にこれまで投入された事業費や町の真水支出額は

町長 昭和57年度から令和2年度までの39年間の建設総事業費は約790億2千万円、町負担金は約149億3千万円、そのうち起債償還金分の地方交付税算入額を差し引くと、支出総額は約42億5千万円となる。

答 建設事業費以外に維持管理費の交付税として約8億8千9百万円算入されている。

問 利活用の状況と経済効果は

町長 令和2年の取扱貨物量は106万8千トンで前年比でマイナス12・9%、令和2年度の経済効果は約13億3千万円と推計している。

問 港活用のポータルセールスは

町長 見通しは明るいとは言えない。企業誘致も含めてはつきり決まっていない。

問 港の土地貸付の状況は

答 一線用地は1518万円、造成用地は2151万円の貸付

収入がある。

問 修繕・維持管理計画は

答 平成25年11月に白老港維持管理計画を策定し、一般点検・詳細点検を実施している。

問 公共中央上屋の償還返済計画と利用状況は

町長 残高は1億6545万円、令和14年度で完済予定。上屋は紙製品保管で7割使用され、他にスポット利用されている。



毛ガ二漁の様子

問 港の環境美化については

答 全国一、きれいな港にしたいと取組んでいる。漁組と清掃活動を行い、企業には周辺の草刈りの実施を義務付けている。

問 漁業関係者の雇用の現状と課題は

町長 海水温上昇や潮流、生息域の変化により水産資源の減少が深刻化している。主要魚種のスケトウダラ、秋サケの水揚げ量の減少は漁家経営にも大きな影響を与えており、後継者、担い手不足に直結する課題であると考えている。

問 白老町の重要な漁業が大打撃を受けているのは見過ごせない。漁業者の暮らしをどう助けるのか

町長 コロナ禍で様々な業種に影響が出ている。一次産業の農業・漁業など、今回の補正に入っていないが、きちんと声を聞きながら、どういう支援が必要か考えていきたい。



前田博之議員

**問** 公営住宅等の現況と人口減少に見合う再編成、集約化は

**答** 公住等長寿命化計画の見直しを進めている

**問** 急激な人口減少と生産人口の流出、高齢化等で公営住宅等の空き家が増加してきているが、公営住宅等の現況と人口減少に見合う再編成、集約化は

**町長** 町営住宅・町有一般住宅は令和3年5月末現在で管理戸数944戸、空き家戸数289戸、耐用年限を超過している戸数512戸、入居待ち件数が日の出団地で11件である。平成29年度策定の公住等長寿命化計画に基づき、西団地52戸と緑ヶ丘団地128戸を再編する計画となつているが、将来人口推計、既存住宅の現状を踏まえ、本計画の見直しを進めている。

**問** 白老町はこの後、15年前後で人口は1万人を割り込むと推計されている。今後の財政状況や住宅環境を勘案して、公営住宅の安全性確認と適切な管理を行い再編成、集約化を政策の柱に置くべきでは



しらおい創造空間「蔵」

**答** 今ある計画を見直し、合わせて既存住宅の活用も含めてもう一度見直しを行うとともに住宅政策を進めていきたい。

**問** 過去5年間の建築確認受付件数は

**町長** 戸建て住宅は、平成28年度15件、29年度18件、30年度25件、令和元年度19件、2年度18件、集合住宅は28年度2件、29・30年度0件、元年度12件、2年度1件となつている。

**問** 「蔵」の設置及び管理の在り方を

見直すべきでは

**答** 公共用財産の位置づけにあり

検討する

**問** 「蔵」の利活用と施設の設置及び管理の状況は

**教育長** 施設の管理はNPO法人しらおい創造空間「蔵」に普通財産として、自主管理・自主運営を前提に無償で貸し付けている。

**問** 公有財産の範囲や区分には厳しい制限が設けられている。

「蔵」の取得目的や教育長と課長の答弁及び建物使用賃貸の目的、用途から「蔵」は公共用財産となる。期限を設けて現状の施設の設置及び管理の在り方を見直し、是正すべきでは

**教育長** 施設の方向性としては公共用財産の位置づけにあり検討していく状況にあると判断している。「蔵」及び関係者と協議をし、整理していきたい。

# 問 新型コロナワクチン接種 高齢者以外の進捗状況は

## 答 7月より順次、接種を開始する



貳又聖規議員

問 新型コロナワクチン接種について、65歳以上の高齢者の進捗状況は

町長 高齢者7112名のうち約84%の予約がある。完了時期は、7月頃を見込んでいます。

問 高齢者以外の進捗状況は

答弁 対象者の12歳から64歳に對して、接種券の発送準備を進めている。7月より順次、接種を開始する。

問 接種を早期に進めるために町立病院の接種人数の枠を拡大する予定はあるのか

答弁 現在、個別接種において、定員60名で行っている。今後は、一日でも早く接種者を増やせるように人数枠を拡大する。

問 一人暮らしの高齢者は、不安を抱えている。行政として、電話をする等、血の通った取り組みが重要であるが、町の考えは

答弁 外出の自粛により、身体機能や認知機能に影響があると認識している。ケアマネジャー

による定期的な確認や運動のアドバイスを行うなど虚弱予防の取り組みを進めていく。

問 コロナ禍にあり、保育士がマスクをすることで幼児とのコミュニケーションの困難が問題視されている。その対応策は

答弁 特に言葉や表情を育てる幼少期に脳の発達に影響が出る」と指摘されている。保育園では、できるだけ表情を見せる工夫を行う対策を進めている。



陣屋資料館の体験メニュー等の魅力化を高める「友の会」

# 問 陣屋資料館「友の会」の活動状況は

## 答 講座の成果もあり 21名で活動している

問 仙台藩白老元陣屋資料館「友の会」の活動状況は

教育長 平成28年度より実施した「館長とまち歩き講座」の成果もあり、現在、友の会は21名で活動を行っている。昨年度はコロナ禍のため、ガイド活動を休止したが、その間もガイド人材としての資質を向上する研修や三好監物が着用した陣羽織を模したガイドユニフォームの制作など、資料館の取り組みと連動した活動を行っている。

また、特別展も含めて官民連携による取り組みを図っていきたい。いろいろな機関や団体の力を借りて、相乗効果を得ることと大きくは白老の魅力化にもつながる方向性で進めたい。

# 問 ホームページのリニューアルを 早急に実施すべき



佐藤雄大議員

# 答 来年度の実施に向けて 進めていきたい

問 町のホームページの現状と課題は

町長 閲覧回数は令和2年度実績で年間65万7600回、更新頻度は月平均124回となっている。しかし、リニューアルから7年以上経過しており情報が煩雑で見にくい、必要な情報が検索しにくい等の意見が寄せられていることから新たな仕様によるリニューアルが必要と捉えている。

問 デザインの強化、訪問者の整理、スマートフォン対応含め、町民サービス向上のためにもホームページのリニューアルを早急に実施すべきでは

答 弁 ホームページは移住定住やふるさと納税の拡充等にも果たす役割が大きいと捉えている。デザインやコンセプトの仕様を決め来年度予算で取り組むことが出来るように進めていきたい。  
問 SNSとの連動を図り、利用者層のデータを分析、解析で

きる機能を活用し、「ターゲット化」していくことが広報の効果的な活用につながるかと考えるか

答 弁 広報誌、ホームページ、SNSそれぞれのターゲットを把握し、それぞれに対して確実によりよい情報を届けるよう進めていきたい。

問 ふるさと納税のLINE登録者数と、ポータルサイト別の件数と納税額は

答 弁 公式LINEは令和2年



白老町ふるさと納税の特設サイト

9月から運用開始し、令和3年6月時点で768名が登録している。代表的なサイトのさとふるでは1万6082件、納税額は2億6690万3千円である。

問 ふるさと納税額は前年比増で、チャネル増加やサイト強化が有効であったと考えるか

答 弁 さとふる単体での納税額は前年比減だが、昨年から増加したチャネルで補うことができていたため、重要と捉えている。今後も引き続き増収策を検討していきたい。

問 子育て応援情報ウェブサイトへの検討時期とサイトの内容、実施予定時期は

町長 町内における子育てに関する制度や情報を広く分かりやすく発信し、子育て世帯の支援を目的としている。内容については現在検討を進めており、町のホームページのリニューアルと併せて実施していきたい。

## 問 令和2年度の決算状況は

**答** 2億9,500万円の  
黒字決算である



大淵紀夫議員

問 令和2年度の決算状況と財政指標について現状は

町長 一般会計は、歳入134億2100万円、歳出130億8804万円で、決算剰余金、黒字額は2億9500万円で、処分については、定例会9月会議で1億5000万円は財政調整基金に積み立てる予定である。特別・企業会計については、町立病院会計のみ経常損失が発生し、赤字決算となっている。

問 令和3年度の予算執行状況と見通しは

町長 町税は約2000万円、ふるさと納税は前年同月比約300万円の増、歳出については、萩の里自然公園法面の復旧事業費1946万円と、今後、町立病院改築事業の補正予算が想定される。

問 行財政改革推進計画の考え方だが、起債(借金)と基金(貯金)に対する町の基本的考え方は

町長 起債については、計画に



令和3年度予算書

定める範囲内で必要な事業を実施し、基金についても同様の考えであり、各年度の財政状況等によっては、基金の取り崩しも考えられる。

問 新しい計画の目標設定の考え方は

町長 新計画は、人口減少下においても持続可能な行財政運営の確立に向けた指針として策定しており、健全化プランの中長期目標を継承している。

**問** 役場職員の働き方改革の現状は

**答** 業務量の増加による

人員不足の中、働き方改革は喫緊の課題である

問 役場組織の今後のあり方と方向については

町長 人口減少が進み、持続可能な行政運営のため、人件費の削減を問題と捉え、事務事業の見直しや外部委託、人材育成などを進め、コンパクトで効率的な組織づくりに取り組んでいく。

問 地方公務員のあり方と働き方改革の考え方は

町長 地域課題を解決するため政策立案をするためには、町民の皆さんと顔と顔が見える関係性、信頼関係を作ることが求められていると捉えている。業務量の増加による慢性的な人手不足の中、働き方改革の推進は喫緊の課題である。

# 問 コロナ禍の影響で困窮している子ども・女性への支援は

## 答 居場所づくりや生理用品の無償配布を検討



長谷川かおり議員

問 居場所づくりとしての子ども食堂の現状は

町長 町内一か所で実施。公共施設でお弁当の配布や学習支援を行っている。緊急事態宣言を受けレトルト食品、缶詰などの配布を屋外で行っている。

問 今後の取り組みは

町長 支援団体と連携し他の地区でも食事提供や学習支援を行い子どもの悩みを受け止め孤立化を防ぐ仕組みづくりを進めていく。

問 支援を通しての子どもたちの変化や影響は

答 弁 友人とのふれあいや地域との交流、学習支援を通し学習意欲の向上や習慣化が見られており子どもたちにとっては貴重な場と捉えている。

問 フードバンクの取り組みについて町の考えは

町長 食料支援を通して子どもたちの成長を支えることができると考えており支援団体と連携

を図りながら行っている。

問 コロナ禍の影響で困窮している女性の支援について今後の取り組みは

答 弁 潜在的に相談することができない女性に対し不安や悩みを解消するための支援体制が課題と捉え内閣府の地域女性活躍交付金の申請を行い実施計画を提出している。

問 実施計画の具体的な内容と期間は



白老町ふれあい食堂ウタルでの学習支援の様子

答 弁 NPO法人に委託した場合に町の負担は総事業費の5%程度。

居場所の提供やインターネットのWEBやSNSでの相談受付、関係機関との連携、実態把握、生理用品の配布等。事業期間は9月から来年3月までを予定している。

問 継続的な支援についての考えは

答 弁 事業の中で状況把握を行い、継続を検討しながら進めていきたい。

問 白老町災害時備蓄方針に生理用品は5年で入れ替えとあるがローリングストック計画に基づく活用方法は

答 弁 生理用品は計画枚数より多めにストックできているが地震発生予測による津波浸水区域の発表により目標数量の変動が見込まれる。活用方法は学校や地域、各団体など要請があれば関係機関と連携し配布していく。



## 中学校部活動

### 問 中学校で活動できなくなった部活動は

### 答 野球・サッカー・バレーボールなど活動休止している



吉谷一孝議員

問 現在の部活の活動状況は

教育長 白老中学校が男子・女子バスケットボール、バドミントン、ソフトテニス、陸上競技、白翔中学校がバスケットボール、バドミントン、ソフトテニスで個人競技が中心の部活動になっている。

問 過去と比較し、活動状況が変化しているか、またその変化の要因は

教育長 過去の推移では、部活動全体の加入率は約80%であり、そのうち運動部は約60%であった。直近の2年間では、加入率が70%に、運動部は50%に減少している。要因は、少子化による生徒数の減少、生活スタイルの変化、学校のほかにも多様な活動の場や機会が生まれたことが考えられる。

問 小学校まで行っていたスポーツの中で中学校に入ってきたなくなった部活動はどのような種目があるか

教育長 小学校では、スポーツ少年団やGenキングしらい

クラブにおいて、野球、サッカー、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、陸上などのスポーツが行われており、中学校でも活動できるのはバスケットボールとソフトテニスのみとなっている。

問 今後においてどのような課題があるか、また課題解決に向けた対策は

教育長 社会の変化、教育に関わる課題の複雑化、少子化の進展等により、これまでと同等の運営体制を維持することが難しくなっている。このような中、子どもたちが生涯を通じて様々なスポーツに触れ、自分の興味・関心や適性に応じて選択できる環境をつくるのが課題であると考えている。これらを解決するために部活動の在り方についての方針を策定し、部活動が持続可能で充実した活動になることを目指す。方針では、指導・運営に係る体制の構築、生徒のニーズを踏まえた環境の整備などを実施し、地域全体で支えていく考えである。

町長 健康で年を重ねていくことはとても重要である。そのためには、小学校や中学校の時の基礎・基本がとても大切だと思う。また、子どもたちがチャレンジできる環境を整えるのも私たちの仕事だと思う。



白老中学校バドミントン部の様子

## 問 2050年二酸化炭素排出ゼロ表明をするべきでは

## 答 町内全体の温暖化対策の整備後に表明をする



森 哲也議員

問 バイオマス燃料化施設が停止し、焼却ごみが増加している。令和2年度のリサイクル率は

答弁 未確定の速報値だが、13%弱と見込んでいる。

問 燃料ごみは現在焼却処分されているが、段ボールや古紙などをリサイクルに繋げることが必要では

答弁 町連合と相談しながら積極的に働きかけを行っていく。

問 各町内会にあるリサイクル保管庫が老朽化している。リサイクル保管庫の貸付け事業を再開するべきでは

答弁 最も古いリサイクル保管庫で30年程経過している。現状の把握を行い検討する。

問 地球温暖化防止の取り組み状況と課題は

町長 2050年二酸化炭素排出ゼロを基本理念とし地球温暖化対策推進法が改正された。脱炭素化の促進に向け、新たな温暖化対策が必要である。

問 脱炭素社会に向けて、白老町も2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明をして、地球温暖化対策の推進を強く意志表示をするべきでは

答弁 町内全体の温暖化対策に取り組み体制を整え、2050年二酸化炭素排出ゼロ表明をする考えである。

問 令和4年度に行うヨコスト湿原の調査内容及び進め方は

町長 白老町環境町民会議と連携して取り組む。

問 ヨコスト湿原を保存するうえで、水路の確保が重要と考える。ハード面の整備が必要では

答弁 湿原西側の水量が減少していると捉えている。湿原の再生ができるように対策を考えた。

問 ヨコスト湿原は民間地が含まれている。太陽光パネルの設置で消滅する可能性は

答弁 市街化調整区域であり、建物を建てることはできないが、太陽光パネルの設置について制限はない。

問 太陽光パネルの規制に関する条例が必要では

答弁 個人の財産に使用の制限をかけるので慎重に検討したい。ヨコスト湿原については、土地所有者と活用方法を協議していく。



日本の重要湿地に指定されているヨコスト湿原

**問** 道の駅により地域外から活力を呼び込むことが必要では

**答** 必要性を感じており、道の駅化の調査検討を進める



広地紀彰議員

**問** 道の駅は、休憩機能、情報発信機能に加え、道の駅を接点に活力ある地域づくりを行う地域連携機能を通し、地域とともにつくる個性豊かな賑わいの場を創出する機能をもつ。ウポポイが所在し、道内外から注目を集めつつある白老にとって、道の駅による活力の呼び込みが必要ではないか

**町長** 地域の食や観光などの情報発信ができる賑わいの場となる施設であり、以前から必要性を感じている。既存施設の道の駅など調査検討を進める。

**問** 函館市旧榎法華村地区のように、町内会の合併により組織力の強化につながった事例もある。人口減少が続く白老にとって、町内会合併に伴う交流や新活動に対し一定の助成を行うことが共創共生の具体化になるのでは

**答弁** がんばる地域コミュニティ応援事業を合併に伴う事業に



観光インフォメーションセンター

活用できるように考えている。

**問** ある農業事業者が、町民に送迎付きで収穫を手伝っていただき、取れ高に応じ賃金を支払い、帰りにスーパーに立ち寄った後に自宅に送るサービスを導入検討している。民間との連携も視野に入れて、町に活性化を期すべきではないか

**町長** 地域資源ともいえる高齢者の皆さんに、より積極的にまちづくりに参画いただき多方面

でご活躍いただくことがコミュニティや地域の活性化に寄与するものと考えている。

**問** 人口減少下において、産業の担い手としても、外国人研修生の存在が大きくなっている。多文化共生を目指す白老にとって、研修生を地域の一員と位置付けて交流やまちづくりにも寄与頂く視点が必要ではないか

**町長** 本町において就労する外国人技能実習生は148名となっている。今後においては多様な価値観や生活様式などについてお互いに理解尊重するとともに共存共栄を目指し努力する。

**問** 人口減少とともに、空き家問題が顕在化している。北海道空き家バンクや相続財産管理人制度などの導入を図り、積極的に解決にあたるべきでは

**答弁** 白老町空家等対策協議会とも連携を図り対応をしてまいりたい。

# 産業厚生常任委員会

## 企業誘致の現状と今後について

本委員会は所管事務調査を行い、その結果を定例会6月会議で報告した。

### 【町内の取り組みについて】

(1) 企業誘致活動  
道内外において誘致活動を実施、平成28年から令和2年で、236件の訪問をした。

(2) 進出企業を取り巻く課題  
少子高齢化等も起因し、雇用の確保が課題。求人するも確保が難しく外国人労働者に頼らざるを得ない状況である。

(3) 企業誘致活動の今後  
アフターコロナを見据え、様々な業種からの情報収集をし、景気が悪い時こそ接触して、企業の信頼を得る事が必要。

① 情報収集と情報発信の強化  
ア、様々な企業からの情報収集の強化

イ、HP及びSNSの活用による情報発信の強化

ウ、立地企業連絡協議会、その他町内企業、東京白老会会員、姉妹都市等と連携した情報発信体制の確立

② 新規企業進出に向けた取組  
ア、立地企業の本社、本部への訪問活動による連携強化と企業紹介体制の確立



石山工業団地

イ、東京白老会会員や姉妹都市と連携した企業紹介体制の確立  
ウ、様々なルートからの情報収集に基づく道内外への企業訪問  
エ、企業誘致の促進に有効な事業等に対する柔軟な対応

### 【委員会意見】

第一に港や農林水産業、道道白老大滝線の通年通行化、製紙業の先進技術研究拠点誘致、冷涼な気候を活用した誘致などの活動に注力すべき。子育てや福祉の発信、従業員福利厚生の魅力も訴えるべき。

第二に雇用促進住宅整備など、誘致、優遇策のあり様を検討すべき。誘致環境として雇用確保支援が重要で、外国人研修生の管理団体の整備をすべき。

第三に国や道の産業誘致諸施策の情報収集をし、庁舎内の連携を行い誘致体制強化に努める必要がある。また誘致成功例から傾向を把握し、対応を図ることが効果的。訪問企業のニーズ

に合った誘致を行うオーダーメイド提案を進めるべき。観光大使の人脈活用も重要と考える。

第四に誘致に関して、既存有力企業への営業活動も重要で、地元事業者との連携、調達率向上のための働きかけが必要。成長が期待できる中堅企業にも誘致を進めるべき。アフターコロナを見据えて、今動くことが重要で議会も一体となり、町ぐるみで取り組むことが必要になる。



白老港臨海部

## 委員会レポート

# 広報広聴常任委員会

本委員会は所管事務調査を行い、その結果を定例会6月会議で報告した。

### (1) 常任委員会

#### ① 議会報告会の実施について

##### 【実施期間及び配信手法】

5月25日に白老町議会ホームページにて公開し、質問受付期間を6月30日までとした。

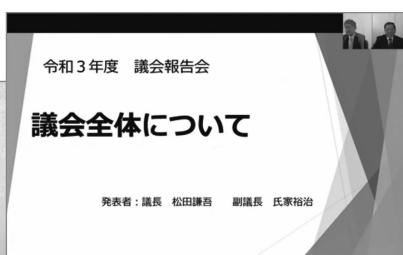
##### 【報告内容】

ア. 正副議長は、議会の考え方及び定例会や全員協議会などの他、議会を代表しての報告事項  
イ. 総務文教常任委員会は、町の財政、税務、生活環境、教育、消防などにかかる事項  
ウ. 産業厚生常任委員会は、町民の健康・医療・福祉、産業、公園・道路、住宅・上下水道、

町立病院などにかかる事項

エ. 議会運営委員会は、議会改革全般と政策研究会などの他、本会議や委員会の具体的な運営にかかる事項

オ. 広報広聴常任委員会は、議会活動の広報、議会懇談会などの町民意見の広聴にかかる事項



左下：議会運営委員会、右上：正副議長の動画

### (2) 小委員会

#### ① 議会広報活動の充実について

前例踏襲ではなく、その時々にあった特集記事を盛り込むこととして、広報紙面の見せ方も工夫することを念頭に「議会だより第175号」では、最終ページに「動画配信による白老町議会報告会のお知らせ」を掲載した。この度実施した報告会の撮影および企画立案や議会だよりの編集作業を議員自ら行っており、今後も創意工夫しながら積極的な情報発信に努める。



総務文教常任委員会

② 議会広報の編集及び発行  
議会だより第175号の編集を行った。



広報広聴常任委員会



産業厚生常任委員会

# 町立病院改築基本計画 方針調査特別委員会

本特別委員会は、町立病院改築基本方針の内容等について精力的に調査を重ねてきた結果を報告する。

## 1 調査経過（概要）

第1回特別委員会では、厚生労働省の地域医療構想に関する具体的な対応方針の再検証要請と対応について質疑を行なった。第2回では、町立病院の経営状況の質疑を行ない、第3回では、「改築基本計画（素案）」を確認、第4回から第6回にかけては、工期短縮や事業費増加リスク低減に向けた質疑を行なった。第7回では、町より「町立病院改築基本計画（案）」、「町立病院経営改善計画（改定版）」が示され、見直し内容、スケジュール

ルなどを確認し質疑を行なった。第8回では、追加質疑と意見を取りまとめ、全体意見と各項目に対する意見を整理した。第9回では、正副委員長案が提出され協議を行ない、報告案をまとめた。

## 2 特別委員会の意見

### （1）策定経過について

町立病院改築に向けた、様々な過程や政策の変遷に対する総括が必要である。また、病院職員、

役場内の合意と納得を得るべく情報共有や説明が必要である。

### （2）病院改築などハード面

情勢を踏まえ、各種感染対策の強化に取り組みべきである。現場の声、専門家の声を踏まえることが重要である。また、病院内の意見の反映状況を明確にすることで、医療現場の合意形成に努めるべきである。さらに、財源確保にあたっては、補助金獲得、基金の活用を図り、他の事業費への圧迫の抑制、後年度負担の軽減化を図るべきと考える。

### （3）ソフト面について

総合医・家庭医の展開、町民に求められる診療科目の充実を追求すべきである。また、接遇の充実を図り、より町民に愛される病院を追求すべきである。

### （4）病院経営改善について

町民の利用率向上に向け、原因の追究と対策の徹底を図るとともに、常勤医師の安定、外科医の確保を通し、信頼され、安心して診てもらえる病院づくりが必要である。在宅復帰率割合70%以上の達成に向けた取り組みを確実にするため、十分な医療スタッフを確保することが重要と捉える。より医療費の圧縮に努めるべく、ジェネリック医薬品の推奨を図るべきである。

### （5）地域医療体制・町財政など

町内医療機関の展望も視野に入れつつ、地域内医療サービス

### （6）まとめ

町の最大使命は「町民一人ひとりの命を守る」ことであり、赤字を減らす極限の努力と共に、町民に利用される、町民全員に安心感をもたらす病院づくりに取り組み、次世代に残る病院建設に邁進されたい。



町立病院の待合室風景

定例会5月・6月会議報告  
 ～議決結果をお知らせします～

予  
算

- ◎定例会5月会議
  - ▼一般会計補正予算（第2号）
  - ▼国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ◎定例会6月会議
  - ▼一般会計補正予算（第4号）
  - ▼介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
  - ▼国民健康保険病院事業特別会計補正予算（第1号）

報  
告

- ◎定例会5月会議
  - ▼専決処分の報告について（令和2年度白老町一般会計補正予算（第14号））
  - ▼専決処分の報告について（損害賠償額の決定について）
- ◎定例会6月会議
  - ▼専決処分の報告について（損害賠償額の決定について）
  - ▼令和2年度白老町一般会計繰越明許費繰越計算書について
  - ▼令和2年度白老町一般会計事故繰越し繰越計算書について
  - ▼令和2年度白老町下水道事業会計予算繰越計算書について
  - ▼白老町が出資等をしている法人の経営状況説明書の提出について
  - (1) 一般財団法人白老町体育協会令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画
  - (2) 一般社団法人しらおい振興センター令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画
  - ▼例月出納検査の結果報告について
  - ▼委員会所管事務調査の報告について
    - ・産業厚生常任委員会
    - ・広報広聴常任委員会
  - ▼特別委員会の調査報告について
  - ・町立病院改築基本方針調査特別委員会

発  
議  
案  
等

- ◎定例会6月会議
  - ▼議員の派遣承認について

財  
産  
取  
得

- ◎定例会6月会議
  - ▼取得財産：感染者等移送車両1台
  - ・契約金額：1251万3400円

意  
見  
書

- ◎定例会6月会議
  - ▼学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書
  - ▼国民健康保険料（税）のさらなる負担軽減を求める意見書
  - ▼林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

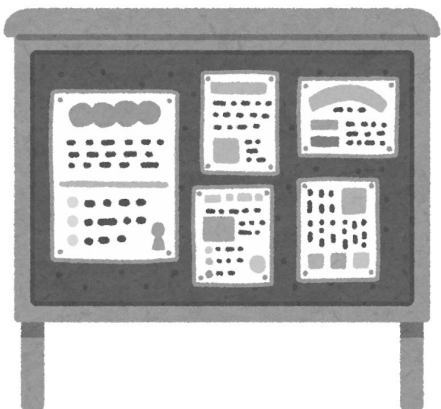
そ  
の  
他

- ◎定例会6月会議
  - ▼白老町の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定等の変更について

**動画による議会報告会**  
 5月25日に公開した議会報告会の動画ですが、7月12日時点の総視聴回数は494回でした。  
 たくさんの方の動画視聴ありがとうございました。  
 議会報告会の動画撮影風景は、P13委員会レポートに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

条  
例

- ◎定例会5月会議
  - ▼白老町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- ◎定例会6月会議
  - ▼白老町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について
  - ▼白老町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
  - ▼白老町税条例等の一部を改正する条例の制定について
  - ▼白老町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
  - ▼白老町特別工業地区建築条例の一部を改正する条例の制定について



# 議会のページ

## ■定例会・委員会等

### 〔4月〕

- 12日 広報広聴小委員会
- 14日 政策研究会
- 20日 議会運営委員会
- 23日 産業厚生常任委員会
- 26日 町立病院改築基本方針調査特別委員会
- 28日 総務文教常任委員会
- 28日 政策研究会

### 〔5月〕

- 12日 政策研究会
- 18日 広報広聴小委員会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 総務文教常任委員会
- 20日 町立病院改築基本方針調査特別委員会
- 25日 駅北地区観光商業ゾーン整備・活性化促進特別委員会
- 26日 政策研究会
- 26日 議会運営委員会
- 27日 定例会5月会議
- 27日 全員協議会
- 27日 産業厚生常任委員会

### 〔6月〕

- 2日 町立病院改築基本方針調査特別委員会
- 3日 議会運営委員会
- 9日 広報広聴小委員会
- 9日 政策研究会

- 11日 議案説明会
- 16日 議会運営委員会
- 16日～18日 定例会6月会議
- 23日 政策研究会

## 定例会9月会議の予定

### ■日時（いずれの日も10時から）

- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| 9月3日（金） 議案説明会      | 9月13日（月） 本会議（予備日）       |
| 9月7日（火） 本会議（一般質問）  | 9月14日（火） 決算審査特別委員会      |
| 9月8日（水） 本会議（一般質問）  | 9月15日（水） 決算審査特別委員会      |
| 9月9日（木） 本会議（一般質問）  | 9月16日（木） 決算審査特別委員会      |
| 9月10日（金） 本会議（一般議案） | 9月17日（金） 本会議（一般議案・決算審査） |

### ■会場 議会議事堂（役場2階）

\*日程が変更になることがあります。詳細は議会事務局へお問い合わせください。  
電話82-6620

## 議会傍聴のお知らせ



現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き議会傍聴は自粛をお願いしております。傍聴席は間隔を空けてお座りいただけるようにしています。

また、インターネットで議会中継を配信しておりますので、ご利用可能の方は中継を御覧くださいませようお願いいたします。

**傍聴される方はマスクの着用をお願いします。**



## 編集後記

行政の使命とは、町民を守ること。

定例会6月会議では9名の議員が12項目の一般質問を行い、計画づくりや財政から情報発信、町の活性化など幅広い分野で議論が展開された。

また、議長を除く全議員で構成する町立病院改築基本方針調査特別委員会の調査報告書が提出され、改選前から数え4年目にして、特別委員会はその任を終えた。

改築に際して、町民・職員の意見反映、経営改善、財政負担減、接遇の更なる向上などを巡って熱い議論がぶつかった4年間であった。時に厳しい議論もあったが、議会も、行政も「よい病院を創りたい」と思いは一つと思う。

私が小学校教諭として赴任していた旧瀬棚町は、91年の老人医療費が日本一高額の年間143万円であったものを、02年には同73万円と劇的な改善に成功している。

保健師と連携し、健康講話や体操など予防医療を率先した旧瀬棚町立診療所長であった村上智彦医師は、かつてこう語っていた。

「お金もなく、人もいなければ、智慧を出す。そうすれば何かできるはず。」  
利用する、しないに関わらず、全ての町民の命を守る砦として、町立病院の使命は大きく、限らない。

（7月1日 記 広地 紀彰）